

神奈川のモノづくり力

神奈川県特集



神奈川県内の臨海部の工業地域

産業の厚み生かし地域経済活性化

力強い産業基盤を持つ神奈川県。重厚長大型から電機・電子、半導体などの先端分野まで幅広い産業が集積している。大手企業の本社や生産拠点だけでなく、機械要素部品の製造や精密金属加工などで確かな技術力を持つ中堅・中小企業の存在感も高く、日本の産業基盤を支えている。研究開発機能の集積や豊富な人材などさまざまなポテンシャルがある。ロボットや宇宙関連など次世代の成長産業を盛り上げる動きも進展している。

京浜工業地帯の中核となる川崎市や横浜市の臨海部は重工業の集積地。両市を中心に広がる工場群は、日本の高度経済成長を支え、現在も技術革新の拠点として機能している。神奈川県は、横浜市や川崎市、相模原市、横須賀市などに高度な加工技術や精密部品製造を得意とする中堅・中小企業が数多く存在する。これらの企業は、大手メーカーのサプライチェーン(供給網)を支えるだけでなく、独自の技術を生かした製品やサービスを創出し、新市場を積極的に切り開いている。

イノベーション創出へ研究開発拠点集積

積み進む。横浜都心部のみなとみらい地区は1983年の事業着工から40年以上が経過し、観光・オフィス街として発展が著しいが、近年では企業の研究開発拠点の進出が活性化している。2月には通信機器世界大手のエリクソンが研究開発拠点「新R&Dセンター」を同地区に設置することを決定。次世代の無線通信に関するハードウェア・ソフトウェアの開発を推進する計画で、将来は同拠点で最大3000人の研究開発職の雇用創出を見込む。山中竹春市長は「通信テクノロジーの世界的なパイオニアの一つが横浜を選び、日本での新たな研究開発拠点としてスタートすることを心から歓迎したい。横浜の経済や地域産業に新たな活力をもたらしてくれることを期待したい」とコメント。



テクニカルショウヨコハマで県内外のモノづくり企業が活発に交流した。

また精密測定機器、電子計測器、産業用センサーなどの計測技術を持つ企業が非常に多い地域としても知られる。こうした産業の厚みを生かし、企業同士の交流を促す活動も盛んに行われている。神奈川県は、毎年、首都圏最大規模の工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ」を開いている。同見本市は今年も2月4-6日にパシフィコ横浜(横浜市西区)で開かれ、県内外から8331社・団体が参加して独自の製品・技術をアピール。3日間で延べ約1万8000人が来場し、新たな受発注の創出に向け活発に交流した。

宇宙など成長産業活性化の機運高まる

また、半導体関連の研究開発機能の集積も活性化している。特にサムスン電子や東京エレクトロンといったグローバルで活躍する大手半導体関連メーカーの研究開発拠点が集積。現在、半導体の高性能化に向け、後工程の技術を高密度化し、チップを高密度に集積するよう技術開発が求められている。横浜国立大学では同分野の研究開発を手がける「半導体・量子集積エレクトロニクス研究センター」を開設して地域企業との連携を推進する動きもある。また、みなとみらい地区は今後、産業官連携による先端半導体分野のイノベーション創出拠点となることが期待される。そのほか川崎市の殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」では医療・ライフサイエンス分野の先端研究開発機能が集積。企業と研究機関、自治体が連携することで、新たなイノベーションが生まれやすい環境が整っている。



神奈川県は、相模原市、JAXAと宇宙関連産業の振興に向けて連携協定を締結した(右から)藤本正樹JAXA宇宙科学研究所長、黒岩祐治神奈川県知事、本村賢太郎相模原市長

さらに神奈川県内で今後の成長が期待されるのが宇宙分野だ。県内には宇宙航空研究開発機構(JAXA)の相模原キャンパス(相模原市中央区)が立地するほか、川崎や横浜を中心に人工衛星やロケット関連の企業が集積する。中小企業を含め県内企業の宇宙分野への関心が高まる中、県は関連企業や研究機関の交流を促進して宇宙関連産業活性化の機運醸成を図っている。

定電流出力 / 再生電子負荷機能を追加

ゼロエミ社会の実現に貢献

菊水電子工業は、パワーエレクトロニクス分野をはじめとする市場のニーズに対応した製品群を拡充している。大容量スマート交流・直流安定化電源「PCRWEA2」シリーズに、「定電流出力 / 再生電子負荷機能オプション」を搭載した。同オプションは工場出荷時に追加できる。供給と消費が1台でできるのが特徴だ。これまでの交流・直流

流安定化電源(CV SUPPLY)機能に加え、新たに「定電流出力(CC SUPPLY)モード」と「再生電子負荷モード」の2つの動作モードを搭載した。定電流出力モードは、単相・単相3線、三相出力の切り替えができる。位相設定や任意波形機能で出力電流波形を変更。用途や動作の安定性に応じて、高速応答モード、中速応答モード、安定応答モード、高安定応答モードの4段階に設定が可能だ。

また、吸収したエネルギーは一次側に構内再生し再利用が可能。さらに、二酸化炭素(CO₂)削減につながる。また、ゼロエミッション社会の実現に貢献するため、削減につながる。また、ゼロエミッション

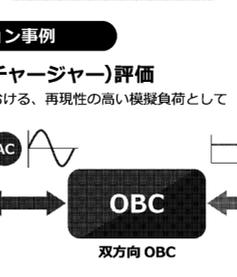
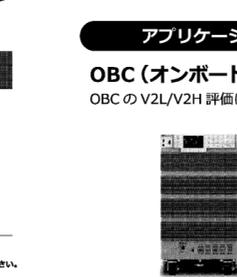
対応モデル	ファームウェアバージョン	入力電圧
PCR6000WEA2R	バージョン 6.xx	三相 200V
PCR12000WEA2R		
PCR18000WEA2R		
PCR24000WEA2R		
PCR30000WEA2R		
PCR36000WEA2R		

再生電子負荷モード

定電流のAC/DC 再生負荷として動作します。0.1°単位での位相設定が可能で、力率を細かく変更することができます。また、任意波形機能を活用することで、コンデンサインプット波形や位相制御型の負荷動作も再現できます。吸収したエネルギーは一次側に構内再生し再利用ができるため、CO₂削減に貢献できます。

定電流出力モード

高電圧・高速の定電流のAC/DC 電源として動作します。単相 / 単相3線 / 三相出力の切り替えが可能で、位相設定や任意波形機能により出力電流波形を自在に変更できます。また、用途や動作の安定性に応じて、レスポンスを4段階から設定可能です。



企業の挑戦をサポート

神奈川の金融機関

サステナビリティ経営後押し

横浜銀行

横浜銀行はグループの浜銀総合研究所(横浜市西区)と共同で、企業のサステナビリティ経営を支援する「(はまぎん)マテリアリティ・サポートローン」の取り扱いの拡充に乗り出している。さらに2025年10月、中堅・中小企業の脱炭素経営を支援する「(はまぎん)サステナビリティ・リンク・ローン フレームワーク型」の取り扱いをスタート。顧客の課題解決や企業価値向上支援に拍車をかける。

企業がサステナビリティ(持続可能性)経営を進める上で、最初のハードルとなるのがマテリアリティ(重要課題)の特定。マテリアリティとは、経済や環境、社会に与える著しいインパクトを反映する項目やステークホルダーの評価や意思決定に対して実質的な影響を及ぼす項目。「(はまぎん)マテリアリティ・サポートローン」では、マテリアリティの特定やKPI(重要業績評価指標)の設定を、横浜銀行が浜銀総合研究所と共同でサポートする。

課題解決・企業価値向上を支援



横浜銀行は企業のサステナビリティ経営を支援していく

融資を受けた企業は、こうした取り組みを取引先・従業員などステークホルダーにアピールできる機会にもなる。24年12月に同ローンの取り扱いを開始。25年度はすでに上期(25年4-9月)に33件の融資を実行している。中堅・中小企業にもカーボンニュートラルへの対応が迫られている。横浜銀行は中堅・中小企業の脱炭素化を支援しようとして、サステナブルファイナンスのラインアップ(商品群)を拡充し、新たなローン商品「(はまぎん)サステナビリティ・リンク・ローン フレームワーク型」を開発した。国際基準である「サステナビリティ・リンク・ローン原則」(SLR原則)に適合したローンフレームワークを作成し、

重要課題特定、サポートローン拡充

「SLR原則」への適合性について、日本格付研究所(JCR)から第三者意見を取得した。これまでの「サステナビリティ・リンク・ローン」では、顧客が個別に外部評価を取得する必要があったが、フレームワーク型では、その必要がなく、導入の間やコストを軽減できる。また温室効果ガス(GHG)排出量の算定・報告や国際認証(ESG認定)の取得を行うことで、適用金利の引き下げを受けられるなど、中堅・中小企業の脱炭素経営への取り組みを一層後押しする効果もある。

ソリユーション営業部サステナビリティ推進室は「中堅・中小企業のサステナビリティの取り組みは、他社との差別化となり、企業価値の向上につながる。こうした取り組みを応援していきたい」と強調する。地域金融機関として、金融サービスを通じた地域社会の経営課題解決に向けた取り組みを加速していく。

「(はまぎん)マテリアリティ・サポートローン」スキーム

連携
●マテリアリティ特定・KPIの設定支援
●フィードバックレポートの作成

浜銀総合研究所
●マテリアリティ特定・KPIの設定支援
●認定証の発行

横浜銀行
●マテリアリティ特定・KPIの設定支援
●認定証の発行

ご融資

お客さま
●マテリアリティ特定・KPIの設定
●取り組みの実践

コンサルティング申し込み・費用

フィードバックレポートを作成

クラフトビール醸造事業参入を支援

日本政策金融公庫

栄屋製パン(神奈川県海老名市、梅田高嗣社長)は1923年創業の老舗企業。創業当初は和菓子をつくっていたが、現在は学校給食向けパンを製造するとともに、サンドイッチ用食パンの提供力を入れる。2022年6月、食パンの耳を活用したクラフトビール(酒造法上は発泡酒)の醸造事業に参入。日本政策金融公庫(日本公庫)厚木支店の支援を受け、挑戦を続ける。

「毎日、大量に出る食パンの耳を何とか活用できないか」。梅田社長はこう力を込める。食パンに占める耳の重量は全体の約4割に相当するといふ。1日当たり3000から5000枚にも達する。これまでも有効活用を模索してきたが、大半は家畜飼料となっていた。梅田社長は「食パンをつくる中で、4割の重さのモノが市場評価を得ずに消えていく。じっくり考える思いがあった」と振り返る。英国にパンを原料にしたトーストエールがあるこ

食パンの耳アップサイクル



クラフトビール醸造事業を製パン事業に次ぐ新しい収益の柱に育てていく

と、クラフトビール事業への参入を決意した。22年6月にブルワリーブランド「Better life with up cycle」(ベター・ライフ・ウィズ・アップサイクル)を立ち上げ、パンの耳を原料としてアップサイクルしたクラフトビールの製造を開始した。ブランド名には「アップサイクルを通して、よりよい生活を送ってほしい」という思いが込められている。参入当初は、各地のブルワリーによるOEM(相手先ブランド生産)でスタートした。女性にも飲みやすいビールを追求するなど、



パンの耳を原料としてアップサイクルしたクラフトビールが注目されている

マーケティングに注力し、商品開発を進めた。イベント参加や地元飲食店への提供などを通じて徐々に評価が得られたことなどから、自社醸造を決定。「事業再構築補助金」を活用して貸倉庫をブルワリーに改造。24年7月に自社醸造に乗り出した。人口減少が進む中、梅田社長はクラフトビール製造事業を製パン事業に次ぐ新しい収益の柱に育てる考え。「メーカーがつくる

100年続く老舗企業 未来への挑戦

本物のアップサイクルビールを栄屋製パングループ全体の力にしていきたい」と目を輝かせる。100年続く老舗企業の未来への挑戦は始まったばかりだ。

コメント
日本政策金融公庫 厚木支店 中小企業事業統轄 藤田 光保氏

食パンの耳を原料にクラフトビールを醸造する栄屋製パンの新規事業は近年、社会的課題となっているフードロスを解決するサステナブルな事業。100年以上の歴史がある老舗企業の挑戦は、大変勇気ある取り組みだ。

日本公庫の使命は「政策金融の担い手として、安心と挑戦を支え、共に未来を創る。」

政策金融の担い手として、安心と挑戦を支え、共に未来を創る。



日本公庫は、お客さまの夢の実現をお手伝いします。

JFC 日本政策金融公庫

横浜支店 0570-039574
国民生活事業 045-641-1841
農林水産事業 045-682-1061
中小企業事業

横浜中央支店 0570-041137
国民生活事業

川崎支店 0570-041403
国民生活事業

小田原支店 0570-041420
国民生活事業

厚木支店 0570-041632
国民生活事業 046-297-5071
中小企業事業

あなたと共に。未来を育てる。

横浜銀行 YOKOHAMA 横浜フィナンシャルグループ

《はまぎん》ビジネスコネクト

預金取引明細の確認や各種商品・サービスの申し込みなどをインターネット上で完結できる無料のサービス

いつでも* 24h 土日・祝日も24時間利用可能!

無料 基本手数料は無料!

便利 手続きや照会等がWeb上で完結できる!

*一部ご利用にならない日・時間帯があります。詳しくは、横浜銀行ウェブサイトをご覧ください。

《はまぎん》デジタル通帳サービス 最大10年分の入金取引・出金取引情報を照会・ファイル取得、WEB完結での普通預金通帳の利用停止申込ができます。*2022年3月20日以降の取引が対象です。

電子交付サービス 横浜銀行からのインボイスを含む各種書類を、インターネット上で閲覧できます。*対象書類は、横浜銀行ウェブサイトをご覧ください。

詳しくはこちら

《はまぎん》ビジネスコネクト 検索

https://www.boy.co.jp/hojin/business-connect/index.html

《お問い合わせ》EB照会デスク

0120-890-458

電話受付時間: 銀行窓口営業日の9:00~19:00 *携帯電話からもご利用になれます。

持続可能な未来をつくる

東京メータ

省エネ診断サービスで脱炭素社会に貢献



第2回かながわ脱炭素大賞で表彰を受ける馬場東京メータ社長(左)

神奈川県や川崎市から表彰
東京メータ(川崎中原区)の空気圧エネルギー計測技術を応用した省エネ診断サービスが、地域内外で高い評価を受けている。2月に川崎市の「第14回スマートライフスタイル大賞」の優秀賞と、神奈川県の「第2回かながわ脱炭素大賞」の先進技術・導入部門を受賞。両賞とも二酸化炭素(CO₂)排出量削減などに貢献する取り組みを表彰するもので、馬場正寿社長は「工場消費電力の20〜30%は空気圧システムが占めると言われるが、空気圧システムのムダは意識されないケースが多かった。省エネ対策を講じることで電気代の抑制にも結びつけることができる。」
これまで川崎市とも連携し、市内の中小製造業などを中心に同サービスを提供して実績を積み重ねてきた。今後は神奈川県全域や県外などへと徐々に活動の幅を広げ、産業界の脱炭素化に貢献することを目指す。

ネオジャパン

自治体業務 AI で効率化



国税調査問い合わせ業務にAppSuiteなどを導入し、担当者間の回答内容の均一化とマニュアル参照作業の効率化を実現する

AppSuite など提供
ネオジャパンは、神奈川県統計センターの「令和7年度調査業務」に「コードツール「AppSuite」と生成AI「neoAI Chat」を導入し、作業時間を平均30%以上削減するなどの業務改善を支援した。在庫管理や問い合わせ対応などをデジタル化し、1件あたりの作業時間は導入前の平均22分から14分へと短縮され、最大36%の削減効果を確認。職員8名へのアンケートでは総合満足度88%、残業削減が43%が実感した。マニュアル検索の効率化で62%が「負担が軽くなった」と回答し、業務改善への関心度も88%が向上した。
引き続き行政サービスの利便性向上や地方自治体の働き方改革に寄与すべく、柔軟なサービス提供を行う。

エレックス工業

宇宙関連事業を推進



SAMRAI搭載衛星のイメージ

地球観測衛星開発 JAXA 参画
エレックス工業(川崎高津区)は、電子機器の開発・製造を手がける。設立は1976年で、今年10月には設立50周年を迎える。ハード・ソフトウェアの両面の設計開発に強みを持ち、現在は宇宙関連の事業も推進。地上のさまざまな物理現象の大規模観測や予測を実現する観測衛星の開発に取り組んでいる。さらに27年度以降に打ち上げが計画されているSAMRAI搭載衛星の開発・製作も、JAXAと連携して進めている。
マイクロ波は地上の海面や大気などあらゆる環境で放出されている。これを衛星に搭載した装置で大規模に観測することで、自然現象の高精度な観測や予測が実現できると期待されている。
プロジェクトを通じて磨いた技術を生かし、市販用の「マイクロ波ハイパスベクトル放射計」も開発して製品化に成功。宇宙分野を含めた新市場の開拓に積極的に取り組んでいる。

ヨコレイ

相次ぎセンター開設



今年完成する「長岡物流センター(仮称)」(イメージ)

長岡に初の日本海側拠点
ヨコレイは冷蔵倉庫会社として日本の食と物流を支えるため、相次いで新設センターを開設している。2024年問題に対応するため「岡山CONN ECT物流センター」を25年4月に竣工した。関西・九州間をつなぐ中間点として機能する。
26年には同社初となる日本海側の物流センター「長岡物流センター(仮称)」、国内2センター目となる全自動倉庫「大井川第二物流センター(仮称)」が完成予定。27年にはグローバルのニーズに対応するためタイに「スワンナプーム物流センター(仮称)」の竣工を予定している。
冷蔵倉庫業界のリーディングカンパニーとして、今後もひとりの地球に優しい物流センターを新設していく考えだ。

スチールプランテック

25周年で4月に新パーパス策定



製鉄需要が拡大するインドでは国営製鉄会社より新設工事業など受注

グローバル展開を一層加速
スチールプランテック(横浜西区)は4月、創立25周年を迎えるにあたり、パーパスを軸とした新たな企業理念を策定する。独自のエンジニアリング力を強みに、カーボンニュートラルの実現や次世代インフラの構築など、地球規模の課題解決に貢献していく。中期経営計画における三つ戦略も着実に進行中。成長戦略においては、昨年末のインドの大規模受注獲得や、米国拠点の本格始動により、グローバル展開を一層加速させる。人材戦略では、直近4年間の入社者が全社員数の2割に達する中、個々のスキルアップ支援とエンゲージメント向上を推進する。DX戦略では、社内課題の分析や生成AIの全社活用を進め、より付加価値の高い業務へのシフトを目指す。

省エネ宣言

計測することから始める電気代の節約
空気圧エネルギーを管理して
工場の省エネ対策を



東京メータ株式会社
〒211-8577 神奈川県川崎市中原区今井南町10-41
☎044-738-2401 https://www.tokymeter.co.jp/

社内の情報共有と、紙・Excel 管理を一挙に改善。

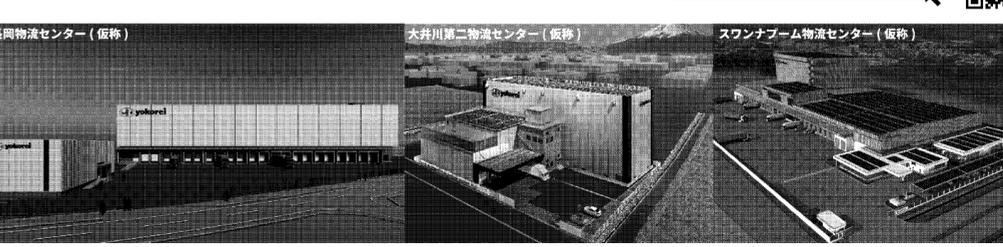
ノーコードグループウェア desknet's NEO

社内ポータルと業務アプリ作成ツールが一体化。
申請業務の標準化から全社の業務改善まで、これひとつで実現できます。



NEOJAPAN 株式会社ネオジャパン 営業部 TEL: 045-640-5906

人とおいしさのあいだに ヨコレイ



宇宙開発の先端へ



Green&Smart



次代を拓く 人材を応援

神奈川の大学

社会連携教育で地域と関わり合う

関東学院大学は社会連携に力を注ぐ。特に工学分野の研究では前身の専門学校時代から産学官連携を先導し、1962年に世界初となるプラスチックのめっき加工の実用化に成功した。同大の校訓である「一人になれ、奉仕せよ」をモットーに、技術を公開するなど、先進的な技術や研究成果を世界に広く波及させてきた。小山巖也学長は世界レベルの研究をリードする同大の材料・表面工学研究所の所長を4月から兼任し、社会連携を一層けん引していく。



4月から材料・表面工学研究所の所長を兼務する小山学長

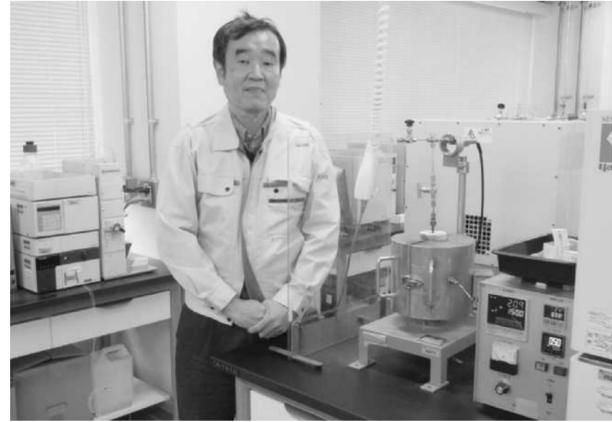
文部科学省が7月に発表した「2024年度大学等における産学連携等実施状況」によると、同大は「特許権実施等件数」で全国8位（私大1位）、「知的財産権等収入」で全国14位（私大4位）にランクインした。長年にわたって産学官連携による共同研究、受託研究、技術移転に積極的取り組みを推進している。理学部の堀久男教授らの研究グループは、フッ素樹脂を簡単に分解することに成功した。従来の熱分解を大幅に低温化し、地球温暖化への影響を抑制したほか、再資源化（フッ素カルリウム）を実現。廃棄物の極小化につながるなど、ゼロエミッション社会への貢献が期待されている。

関東学院大学

領域を研究、教育の面で深化させる方針だ。表面工学、電気・電子、応用化学、先進機械、数理・物理、生命科学、土木・都市防災などの各コースで、先端的なディープテック領域に知見を持つ学生や研究者を育成することで、社会課題を解決する。小山学長は「理系人材が不足しているのは、日本にとって深刻な問題だ」と危惧する。第5世代通信（5G）やAI（人工知能）を支えるディープテック領域の要素技術を重視し、企業や行

廃棄物極小化でゼロエミ社会に貢献

神奈川大学は研究成果による社会への還元で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する取り組みを推進している。理学部の堀久男教授らの研究グループは、フッ素樹脂を簡単に分解することに成功した。従来の熱分解を大幅に低温化し、地球温暖化への影響を抑制したほか、再資源化（フッ素カルリウム）を実現。廃棄物の極小化につながるなど、ゼロエミッション社会への貢献が期待されている。



高機能なモノだけでなくサステナブルなモノが重要になると堀教授

神奈川大学

フッ素樹脂をはじめとする有機フッ素化合物（PFAS）は優れた耐熱性、耐薬品性、電気絶縁性を持つ。今回の研究の対象としたフッ素樹脂は、テトラフルオロエチレン・ヘキサフルオロプロピレン共重合体（FEP）だ。炭素原子が形成する共有結合の中でも最も強い炭素・フッ素結合のみから形成されている。FEPは安定であるが、完全分解には約1000度（C）の膨大なエネルギーが必要だった。また、処理方法が社会的課題となっていた。

が、完全分解には約1000度（C）の膨大なエネルギーが必要だった。また、処理方法が社会的課題となっていた。堀教授は「ここでもあるような水・アルカリ

人材育成、ディープテックと教育を深化

KGU 横浜ディープテック構想

政 地域と深く関わり合う社会連携教育に力を注ぐ。その上で「ディープテックのコアの技術としての表面処理にフォーカスしていく」と力を込める。同大は近くオープンする大規模複合施設「BAGATE横浜内（横浜市中区）内に産学連携拠点「KGUオーフンハイノベーションセンター（HAMARISE）」（HAMARISE）を創設する。同複合施設はJR関内駅前で、横浜スタジアムに直結。延べ床面積約12万8500平方メートルの都心部に立地し、オフィスや商業、ホテルなどが集積する。同大はHAMARISEを大学と企業との交流の場にした。小山学長は「企業との交流の場にした。小山学長は「企業との交流の場にした。小山学長は「企業との交流の場にした。」と述べた。

FEPをフッ化物イオンまで完全分解

試験、耐圧容器を使って、FEPをフッ化物イオンまで完全に分解できるのが特徴だ」と強調する。FEPを水酸化カリウム水溶液とともに密閉容器に入れて360度Cに加熱する。FEP中の炭素・フッ素結合が事実上完全に分解してフッ化物イオンとして水中に回収できることを発見した。その際に、二酸化炭素（CO₂）はほとんど発生せず、トリフルオロメタンのような温暖化係数が高い有害ガスも発生しなかった。さらに環境影響が問題となっている低分子量のPFAS類も発生しなかったことが確認された。

亜臨界水反応+Ca添加

要の増加により世界的に入手困難な状況が続いている。このため、欧州連合（EU）ではレアメタル（希少金属）と並んで蛍石（希土）を重要原材料に指定し、域内生産の増加を図る。今回の研究成果により、廃棄物を分解して、人工的に高純度のフッ化カルシウム「人工蛍石」を得ることが可能になるなど、資源問題の解決にも貢献が期待されている。堀教授は「今後は高機能のモノだけでなく、サステナブルなモノが重要になってくる」と指摘する。PFASの持続的利用とサステナブル社会の実現の両立に向けて、さらなる研究開発に挑戦する構えだ。

神奈川大学は 2028年に創立100周年を迎えます



文系・理工系 11 学部を擁する総合大学として 横浜から世界へ、そして未来へ向けて 学生を最も成長させる大学を目指します

世界へ、そして未来へ **KU 神奈川大学**

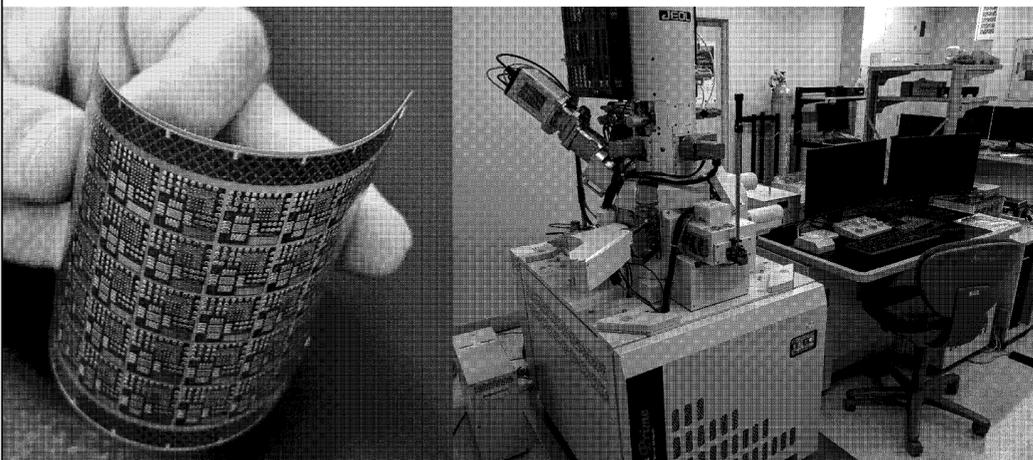
国内外の大学や企業との連携を推進



関東学院大学



2023年4月に「表面工学コース」を理工学部内に開設
社会人対象の文部科学省認定「職業実践力育成プログラム」
【材料・表面技術マイスタープログラム】募集中 詳しくは [関東学院大学 bp](#) 検索



材料・表面工学研究所
横浜・金沢八景キャンパス

〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1 (横浜・金沢八景キャンパス)
TEL 045-786-7002
<https://mscenter.kanto-gakuin.ac.jp/>



横浜キャンパス
法学部・経済学部・人間科学部・理学部・工学部
建築学部・化学生命学部・情報学部
TEL: 045-481-5661 (代) 〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

みなとみらいキャンパス
経営学部・外国語学部・国際日本学部
TEL: 045-664-3710 (代) 〒220-8739 神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-5-3



次代を拓く 人材を応援

神奈川の団体

県内中小の外国人材活用促進へ

公益財団法人の神奈川産業振興センター(KIP)は、県内中小企業への創業支援をはじめ、販路開拓や海外展開、事業承継まで幅広く支援する神奈川県の外郭団体。2025年4月に「かながわ外国人材活用支援ステーション」を開設。ニーズが高まる外国人材の活用に関し、公的機関として中立的な立場から相談対応やセミナーによる情報提供、マッチング支援、定着支援まで一貫した伴走支援を提供。県内中小企業が安心して外国人材活用に取り組める環境づくりを進めている。

神奈川産業振興センター

近年、県内中小企業の経営課題が多様化する中、人手不足の深刻化や企業活動の国際化を背景に外国人材活用のニーズが高まっている。人材確保が県内中小企業における重要な経営課題となっている一方で、外国人材の採用を検討する企業からは「制度が複雑で分かりにくい」「採用後の定着が見通せない」といった声も少なくない。外国人材の受け入れには在留資格制度や生活支援など、日本人採用とは異なる知識が求められる。こうした課題に対応するため、KIPのかながわ外国人材活用支援ステーションは外国人材に関する公的相談窓口として、行政書士などの相談員による無料の個別相談を受け付けている。相談員は外国人材に関する具体的な知識を有し、外国人材の採用に関する相談を受け付けている。相談員は外国人材に関する具体的な知識を有し、外国人材の採用に関する相談を受け付けている。



神奈川県内の製造業でのインターンシップ

外国人材活用支援ステーションは外国人材に関する公的相談窓口として、行政書士などの相談員による無料の個別相談を受け付けている。相談員は外国人材に関する具体的な知識を有し、外国人材の採用に関する相談を受け付けている。相談員は外国人材に関する具体的な知識を有し、外国人材の採用に関する相談を受け付けている。

相談・採用・定着まで伴走



県内中小企業が現地企業に力をつけるには、外国人材の活用が鍵となる。本誌能力、就業意欲を確認した上で採用を希望する企業は、公的相談窓口「かながわ外国人材活用支援ステーション」を通じて、企業と外国人材のマッチング支援を受け、インターンシップや採用、定着まで一貫した伴走支援を受けられる。外国人材は人手不足に対する解決策にとどまらず、高い専門性を持つ人材として企業に新たな可能性やイノベーションをもたらすことも期待されている。同ステーションは、一貫した支援体制の構築によって外国人材と県内中小企業双方にとって持続可能な関係構築を後押しし、地域産業のさらなる活性化につなげていく考えだ。

創立40周年へ 科学技術と文化・芸術支援を拡大

小笠原敏晶記念財団は科学技術分野の研究者への助成事業を始めて、今年9月に40周年を迎える。近年は、文化・芸術分野にも活動を広げ、多様な創造力をもつ挑戦者を支援する取り組みを強化している。同財団の「常識に挑む、熱き才能に寄り添う」で社会に新たな価値を生み出す人材を後押しして、イノベーション創出を支援し、未来を切り拓くことを理念として掲げる。

小笠原敏晶記念財団

公益財団法人である同財団は1986年「三・五」創業者の小笠原敏晶氏が「小笠原科学技術振興財団」として設立した。科学技術分野で助成を主軸に事業を展開し、20年には「小笠原科学技術振興財団」を改称し、文化・芸術分野の助成も開始した。科学技術助成では、設立当初からの高分子分野における新素材・加工技術・新機能開発を対



理事長 小笠原三四郎氏

象とした「一般研究助成」に加え、15年には公益性の高い新製品・新技術開発プロジェクトの起業家を支援する目的で、インキュベーション助成とベンチャー助成で構成する「インキュベーション助成(造語)」を開始した。24年以降は高等専門学校や大学校を含む「若いチカラ」や女性によるスタートアップ支援も強化。そのほか、国際研究集会で発表するための渡航費を補助する「国際出張助成」、国内における国際研究集会開催費を補助する「国際会議開催助成」も実行している。

「常識に挑む、熱き才能に寄り添う」



健全で豊かな社会づくりに貢献。展示会に出展して財団の取り組みをアピール。展示内容に反映させる。26年度も第5次の助成を行う予定だ。いずれの緊急事態にも民間の助成財団として機動力を発揮できる体制を敷いている。また、日本の現代美術の発展と国際的なプレゼンテーションを海外へ紹介・周知する。健全で豊かな社会づくりに貢献。

小笠原敏晶記念財団では 新しい価値を生み出せる人たちを応援します

常識に挑む、熱き才能に寄り添う

設立者 小笠原 敏晶

2026年度 助成事業・助成額

分野	助成事業名	募集期間(予定)	助成金総額
科学技術	一般研究助成	4/24～6/30	2億円
	インキュベーション助成	4/24～6/30	2億円
	国際研究集会 出張助成	4/24～7/31	2,000万円
	国際研究集会 開催助成	4/24～7/31	1,000万円
	特定課題研究助成	(随時) 募集先限定	6,000万円
	小計		4億9,000万円 (3億1,500万円)
文化・芸術	調査・研究等への助成	7/10～9/17	1億円
	交流助成(上期)	4/24～6/18	1,500万円
	交流助成(下期)	9/1～10/15	1,500万円
	渡航・旅費等の助成(上期)	4/24～6/18	1,000万円
	渡航・旅費等の助成(下期)	9/1～10/15	1,000万円
	現代美術の翻訳助成	7/10～9/17	3,000万円
	令和6年能登半島地震緊急助成	7/10～9/17	7,000万円
	特定課題助成	(随時) 募集先限定	4,000万円
	小計		2億9,000万円 (2億1,500万円)
	合計		7億8,000万円 (5億3,000万円)

※募集期間は、変更の可能性があります。最新情報は、Webページでご確認願います。()内は、2025年度予算。

外国人材の雇用をサポート

かながわ外国人材活用支援ステーション開設

2025年4月～

こんな悩みはありませんか?

- ◇人手不足解消のため外国人を雇用したいが不安
- ◇在留資格や手続き、費用はどれくらい必要なのか教えてほしい
- ◇求めている外国人材はどこで探せばよいの?
- ◇高度人材と特定技能等の違いが分からない
- ◇雇用した外国人材が定着していくためにはどんなことが必要? など

このようなご相談に「かながわ外国人材活用支援ステーション」が一貫した伴走支援でサポートします!

初期相談 → マッチング → インターンシップ → 採用 → 定着

県内中小企業等 ↔ かながわ外国人材活用支援ステーション ↔ 県内協力機関 / 外国人材紹介会社

かながわ外国人材活用支援ステーションで取り組むことを紹介します!

- 相談** 採用未経験から雇用定着まで、企業のステージに応じてワンストップ相談に対応します。行政書士や企業実務経験者等、知識豊富な相談員が親切にアドバイスを行います。
- マッチング** 海外での現地合同面接を開催し、アジアを中心とした各国の高度人材と交流する機会を設定します。2025年度はベトナム、インド、モンゴルで開催します。
- インターンシップ 奨励金** 各国からの学生を招き、現場でのインターンシップを一定期間実施した場合、企業が負担した費用(宿泊費、通訳費等)のうち、1人につき20万円の奨励金を交付します。
- 情報発信** 外国人材に関わるセミナーを開催し、人材紹介会社による事例紹介等を発信、また雇用定着に関わる研修会等も企画しています。

公益財団法人 小笠原敏晶記念財団 国際課 かながわ外国人材活用支援ステーション

〒108-0014 東京都港区芝5-27-6 泉田町ビル4階 TEL. 03-5476-2174

公益財団法人 神奈川産業振興センター 国際課 かながわ外国人材活用支援ステーション

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 TEL 045 (633) 5142

社会のニーズに応える

優れた技術・製品・サービス

File 001

3DCAD/CAM「TopSolid」

AIによるコマンド予測機能追加



「TopSolid」のイメージ図

「TopSolid」のイメージ図
「TopSolid」は、3DCAD/CAMの分野で、設計・製造（CAD）から生産（CAM）まで、一貫したソリューションを提供しています。AIによるコマンド予測機能の追加により、作業効率を大幅に向上させ、ユーザーの負担を軽減しています。

「TopSolid」は、3DCAD/CAMの分野で、設計・製造（CAD）から生産（CAM）まで、一貫したソリューションを提供しています。AIによるコマンド予測機能の追加により、作業効率を大幅に向上させ、ユーザーの負担を軽減しています。

コダマコーポレーション

AOKIららテラス 武蔵小杉店 出店

神奈川県をはじめ今後も店舗網を強化



AOKIららテラス 武蔵小杉店

AOKIは神奈川県武蔵小杉に、新たな店舗を開業しました。今回の開業は、2025年10月にオープンした「AOKIららテラス 武蔵小杉店」の姉妹店として、さらなる店舗網の強化を図ります。

AOKI

デジタル温度調節計「TTM-60シリーズ」

省スペース化・生産性向上に貢献



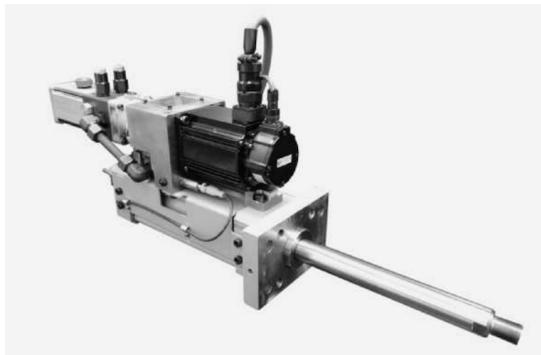
「TTM-60シリーズ」はユーザーニーズに応える製品展開

東邦電子（相模原市緑区）のデジタル温度調節計「TTM-60シリーズ」は、2026年夏頃に市場投入を予定しています。省スペース化と生産性向上に貢献し、幅広い分野で採用が期待されています。

東邦電子

一体型電動油圧シリンダー

最大95%の省消費電力効果



電動油圧シリンダー「e-Zero」

「e-Zero」は、従来の油圧シリンダーと比較して、最大95%の省電力効果を実現しています。省スペース化と生産性向上に貢献し、幅広い分野で採用が期待されています。

「e-Zero」は、従来の油圧シリンダーと比較して、最大95%の省電力効果を実現しています。省スペース化と生産性向上に貢献し、幅広い分野で採用が期待されています。

南武

ライフスタイルの多様化に寄り添う「LIFE&WORK STYLEのAOKI」への進化を加速



株式会社AOKI 〒224-8688 神奈川県横浜市都筑区葛谷6番56号 代表電話:045-941-3488

無線センサネットワーク
NEOMOTE
現場指向のIoT・DXのモノのデータ収集基盤
コスト削減 シンプル 多種多様なデータ収集
マルチ変換ユニット (WS-Z5038) 新製品
接続入力出力無難化ユニット (WS-Z5037) 新製品

省スペース多機能型スマートソリューション!!
デジタルコントローラ TTM-64
温調の東邦から 新登場!
【低コスト&高機能を実現する】
48x48mmサイズで2CH入力仕様
●小型化によりスペースを取らず機器の設計と設置
●2台分の実装機能を兼ね備え、コスト低減
各種温度コントローラ・温度センサの御用命も承ります。
TOHO 東邦電子株式会社
本社：〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本2-4-3
URL: https://toho-inc.com/ E-mail: info@toho-inc.com/

電動シリンダの困り事解決!
第17回/2020年 “超”モノづくり部品大賞 日本力(にっぽんがらんど)賞受賞
脱炭素の決定版
高機能 環境・工場保全
e-Zero 電動油圧シリンダー
油圧シリンダ、サーボモーター、ポンプ、タンクを一体化した。電気配線だけで使える油圧シリンダ
出力不足 破損
・アイドルストップによる消費電力95%OFF
・油圧シリンダの荷重制御、位置制御、速度制御が簡単・高精度に実現可能
・電動シリンダの精度と省エネ性と、油圧の大出力の良いとこ取り
・リリーフ弁による確実な過負荷防止!電動シリンダのように壊れない!
・油圧ユニットや配管不要!電気配線だけで使用可能!
e-Zero 電動油圧シリンダ
油圧シリンダ、サーボモーター、ポンプ、タンクを一体化した。電気配線だけで使える油圧シリンダ
電動・油圧 制御 マシナリー
NAMBU 株式会社 南武
本社 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 2-8-16
TEL 045-791-6161 FAX 045-791-6162
E-mail: eigyo@nambu-cyl.co.jp
URL: https://www.nambu-cyl.co.jp
海外拠点 タイ・中国・アメリカ
e-Zero特設WEBサイト

生産性向上・人材育成・技術継承を実現する 3D CAD/CAMシステム TopSolid

製品・設備設計 TopSolid'Design
金型設計 TopSolid'Mold
部品加工 TopSolid'Cam
3次元設計支援システム
プラスチック・プレス・ダイカスト金型設計支援システム
3次元ソリッドCAD/CAMシステム
■二次元コードから各製品の導入事例をご覧ください。
KODAMA CORPORATION
第41回優秀経営者顕彰受賞
お問い合わせ sales@kodamacorp.co.jp
URL https://www.kodamacorp.co.jp
TopSolidは、TOPSOLID社のフランスおよびその他の国における登録商標です。
TOPSOLIDは、コダマコーポレーション株式会社の日本における登録商標です。
TEL 045-949-1331 〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央3-1センター南SKYビル4F

社会のニーズに応える 優れた技術・製品・サービス

File 002

中華調味料「プチッと中華」シリーズ

「麻婆茄子」などラインアップ拡充

「プチッと中華」シリーズの「プチッと中華 麻婆茄子」。1個で1人分の中華調味料で人数に合わせて手軽につくることができる。



エバラ食品工業は中華調味料「プチッと中華」シリーズのラインアップ(製品群)を拡充する。「プチッと中華 麻婆茄子」「同 麻婆豆腐 甘口」「同 麻婆豆腐 辛口」を発売した。新アイテム「青椒肉絲」「麻婆豆腐 辛口」は唐辛子不使用。「麻婆豆腐 辛口」は唐辛子とラー油をブレンドした刺激的な味わいだ。「プチッと中華」シ

エバラ食品工業

センサー内蔵カップリング

貸し出しプランを設定

トルクセンサー内蔵カップリング「センシングフレックス SSC」



三木プリー(川崎市中原区)は、トルクセンサー内蔵カップリング「センシングフレックス SSC」を開発品に貸し出しプランを設定した。同製品はフレキシブルカップリングにトルクセンサーを内蔵し、負荷変動に伴うトルク変化を専用のアプリを使ってリアルタイムでモニタリングできる。トルクデータは無線通信にて送信・受信ユニットに伝送され、アプリで確認できる。送信・受信ユニットでワイヤレス給電に対応し、バッテリー交換の煩わしさを排除した。配線が必要なしないシングルな構成として使い勝手も高めた。カップリング部には信頼性の高い金属板はね方式の「サーボフレックスSFC」のO40サイズ相当を採用し、サーボモーターやステッピングモーターなど高精度な運動用途に最適とした。カップリング部の許容トルクは12kgfcmで穴径は10mm、24mm。送電・受信ユニット部の電源電圧はDC24V±10%。貸し出しプランの内容は、カップリング、送信・受信ユニット、ACCアダプター、USBケーブル、DVD(取扱説明書・専用アプリ)を含める。費用などの詳細は各営業所または本社ホームページで問い合わせに対応する。

三木プリー

バリ取り機最上位モデル「AUDEBU IQNOIA」

デザイン性・環境性能追求し高評価



「AUDEBU IQNOIA(オーデブ・イクノイア)」とオーセンテック高田全社長

オーセンテック(相模原市南区)のバリ取り機最上位モデル「AUDEBU IQNOIA(オーデブ・イクノイア)」が第55回機械工業アライアメント賞を受賞した。同機は、IDEAの「日本商工会議所会頭賞」を受賞。優れたデザイン性と機能が高く評価されている。空気の流量を減らし、吸引力を高めた加工対象物(ワーク)吸着シ

オーセンテック

自動搬送ロボット向けセンサー技術提供

物流現場の自動化支える



自動搬送ロボットのナビゲーション用レーザー scanner「LZR-VISIOSCAN NAV」

ビーイーエージャパン(横浜市西区)は、言葉に、日本のモノづくり現場の自動化・省人化に貢献している。現在、物流倉庫や工場では人手不足の解決策として自動搬送ロボットの導入が急速に進む。レーザー scannerは同ロボットの目録の役割を果たす中核部品だ。同社では、周囲の状況を正確に把握して自律走行するナビゲーション用や、人や障害物を検知して安全に停止する安全保護用など用途別に提供。レーザー scannerとコントローラーのセット提供で互換性チェックの手間を省き、導入から稼働までの最短ルートを実現する。2025年にはドイツのLeuze社と提携し、レーザー scannerの正規代理店となり、製品ラインアップを拡充。自動搬送ロボットへの搭載はもちろん、工場・物流施設内の固定式レーザー scannerとして幅広い用途に対応。屋外用途への展開も視野に入れ、多様な顧客ニーズに応えていく。

ビーイーエージャパン

高速カンタン 一人前から!

中華

少ない食材で サツと作れる!

ごはんがススム! 6ラインナップ

エバラ

エバラ食品工業株式会社

お客様相談室 ☎0120-892-970 www.ebarafoods.com

伝動機器で 産業界を支えています。

三木プリー株式会社 〒211-8577 川崎市中原区今井南町10-41 本社営業部 044-733-5151 <https://www.mikipulley.co.jp/>
支店/北関東 027-321-5521・名古屋 052-911-6275・大阪 06-6385-5321・西日本 092-474-3631

AUDEBUシリーズ バリ取り工程・洗浄工程で省人化を実現!

デュアルコンベアで一人作業

消費電力 30%削減

4'x8' サイズ対応

Authentec オーセンテック株式会社

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野三丁目3番2-225号
TEL: 042-701-0285 FAX: 042-701-0286
URL: <https://authentec.jp> E-mail: info@authentec.jp

AGV/AMR向けレーザー scanner & 高性能位置推定コントローラー

お問い合わせはこちら

製品情報

LZR technology

LZR®-VISIOSCAN NAV

特長

- 高精度な測定データを提供
- 業界トップクラス*1の角度分解能 0.025°
- 4種類の走査パターンに対応

*1 当社調べ

お問い合わせ

BEA2300

特長

- コンパクト設計で設置場所を選ばない
- 高精度な自己位置情報の出力とSLAMによる地図生成機能を実現
- BEA製2D LiDAR全製品に対応で面倒な互換性チェック不要

お問い合わせは <https://asia.beasensors.com/ja/> Email: salesjp@beasensors.com
〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-8-19 横浜西口Kビル2階 TEL:045-565-9560 FAX:045-565-9561

社会のニーズに応える 優れた技術・製品・サービス

File 003

「お客様第一」の姿勢 具現化 事業承継を推進

端子台などモノづくり技術継承



オートタックス（横浜 旧東通コンポネン）から角形コネクタを、松久からDIY Pスイッチをそれぞれ譲り受けた。2025年にはハトライトからKASUGA端子台の事業承継を完了した。

端子台および端子台に関わるアクセサリ事業と端子台を製造する辰野工場（長野県辰野町）を取得した。長年培われたモノづくりの技術の継承を進めることと、事業基盤の拡大と競争力の強化につなげる。

これらの製品はいずれも数十年の歴史があり、ニッチな分野ではあるものの、今後も社会においてニーズが高く、ユーザーから必要とされ続けている製品だ。同社が受け皿となつて事業を承継し、メーカーとしての供給責任を果たすことで、社会のニーズに応えていく考えだ。

同社は日本・タイ・中国・マレーシア・韓国に広がる生産ネットワークを生かし、継承した製品を安定的に維持・供給していく。同時に国内生産への回帰を進めることで、サプライチェーン（供給網）の強靱化への貢献を目指す。

表面処理対応を強化

新工場で受注拡大を目指す



精密金型と精密機能部品への熱処理、表面処理の専門メーカー不二越冶金工業（川崎市中原区）は、プラズマ窒化・浸炭窒化、プラズマCVD・PVD処理などプラズマ処理を集約した開発拠点兼表面処理工場を2024年に完成した。

タフレットで各部門の情報を共有し、窒化、PVD、DLC等複合処理の工期短縮も実現。主力であるプラズマ窒化BPNでは金型製品向けのラインとプラズマ軟窒化のラインのほか、炉を新設してプラズマ浸炭窒化専用のラインを増設した。BPN浸炭窒化については量産製品の一部業務移管の問い合わせに対応して精度の高いステンレス製品などを中心に契約に至っており、委託開発を含め今後の受注拡大を目指している。

不二越冶金工業

人間性を尊重し、組織の活性化

非鉄も視野に、総合熱処理企業への進化を目指す



オーネックス（厚木工場）は、金属熱処理を手掛けるオーネックスは、経営理念を強化している。理念の中心に「人間の尊重」を据え、新規開拓に向けた営業活動の再構築など組織体制の見直しに着手している。

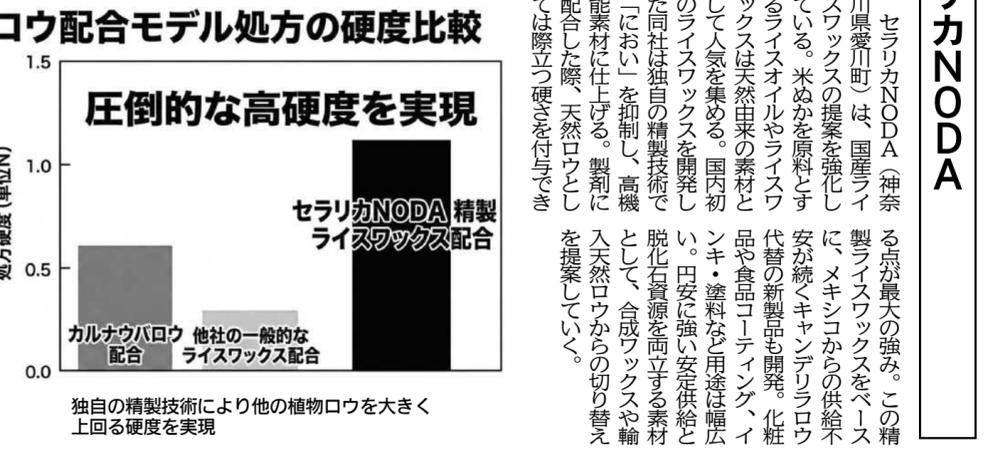
「組織は人間の集まりであり、人間を尊重しなければ何も始まらない」という方針で、定年の延長など熟練の技術を持つ人材が活躍できる環境を整える。

工場別に熱処理製品のバリエーションを進めているほか、効率的な生産や運営、物流体制の強化に向けて、人手不足対策として自動搬送装置やロボットによる熱処理加工も進めている。三重県の生産拠点である子会社のオーネックステックセンター（OTC、三重県亀山市）では、取引先のニーズを拡大するなか、今後引合いが増えるロボットや防衛産業関連の製品へも対応していく構えだ。非金属、特にセラミックスの熱処理分野への進出も視野に入れ、金属熱処理企業から、総合熱処理企業への進化を目指す。

オーネックス

国産ライスワックスの提案を強化

米ぬか原料に精製技術で硬さ実現



セラリカNODA

精度に強い、熱処理と表面処理の不二越冶金

焼入れから表面処理まで一貫体制
コストと納期に貢献いたします。

耐久性、耐食性、離型性にご相談に合わせ
お客様の細かな要求品質に対応いたします。

金型 機能部品 ステンレス 量産

不二越冶金工業株式会社 〒211-0021 神奈川県川崎市中原区木月住吉町24-5(本社工場同址)
TEL 044-411-3188 FAX 044-422-4732 お問い合わせ info@fykk.jp

真空熱処理 Vacuum H-T
窒化処理 Plasma & Gas Nitriding
コーティング PVD Coating

一貫体制

脱鉛物ワックス・脱プラスチックの天然新素材開発

地球に還る植物ロウ

- 円安・供給不安に強い国産ライスワックス
- キャンデリラロウ代替の新製品

株式会社セラリカNODA ●当社独自の環境活動をCHECK!

〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津7202(愛の重なる町)
TEL: 046(285)1265 FAX: 046(286)2800 E-mail=good@vesta.ocn.ne.jp

総合熱処理

金属熱処理技術で、日本のモノづくりを支えます

～浸炭・窒化・総合熱処理のオーネックスグループ～

大型部品から小型部品までお任せください!

ONEX 株式会社 オーネックス

〒194-0022 町田市森野1-7-23 大樹生命町田ビル 4F
TEL.046-285-3664 FAX.042-722-4938
http://www.onex.co.jp

MADE in MARKET

現地で開発。現地で製造。

EASYTEC MECHATRONICS (WUXI) CO., LTD.
OTAX SHANGHAI LIMITED
OTAX KOREA CO., LTD.
OTAX CO., LTD.
OTAX ELECTRONICS (SHENZHEN) CO., LTD.
AUTOSYS INTELLIGENT EQUIPMENT CO., LTD.
OTAX SEIKI (GUANGDONG) CO., LTD.
OTAX ELECTRONICS TECHNOLOGY (HESHAN) CO., LTD.
OTAX HONG KONG LIMITED
OTAX ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.
OTAX MALAYSIA SDN.BHD.

DIPスイッチ
スライド
ピアノ
ロータリー

操作スイッチ
トグル
ロッカー
押ボタン

金属加工関連
アルミニウム加工
精密ネジ

コネクタ
角形コネクタ
カスタムコネクタ

ヘルスケア
医療機器
ウェアラブル

端子台
FA用
エアコン用
KASUGA

otax オータックス株式会社 TEL: 045-543-5621
H P: www.otax.co.jp
本社: 〒223-8558 神奈川県横浜市港北区新羽町1215

社会のニーズに応える 優れた技術・製品・サービス

File 004

ポータブル振動計「VW-3100」

独自の信号処理で異常数値を検出



ポータブル振動計「VW-3100」

プラント・製造業では設備の老朽化が進む一方、更新の負担が大きくなり、既存設備を長く安定稼働させる保全体制の強化が求められている。回転機械の状態監視には振動計測が用いられているが、現場では聴診棒による点検も多く、経験に依存しやすいことや技術継承が課題となっている。

小野測器のポータブル振動計「VW-3100」は、独自の信号処理で異常成分を数値化し、兆候を把握しやすとした。加速度・速度・変位を同時表示して見落としを防止、振動を音として再生する機能により聴診棒の代替として異常確認が可能。計測と記録を同時に行えるため事務所の精密診断にも活用でき、ISO 9001/16評価や傾向管理にも対応するなど、現場の振動診断を総合的に支援する。

小野測器

熱・漏水・乾燥を検知

非接触システム開発 安全性向上に貢献



手のひらサイズで製造現場や機械室を見守るセンサー

東芝情報システム(川崎市川崎区)は、熱・漏水・乾燥を非接触で検知するシステム「VisilantEye」を開発した。機械や設備の異常検知や状態監視などに役立つ。製造現場などの生産効率や安全性の向上に貢献する。

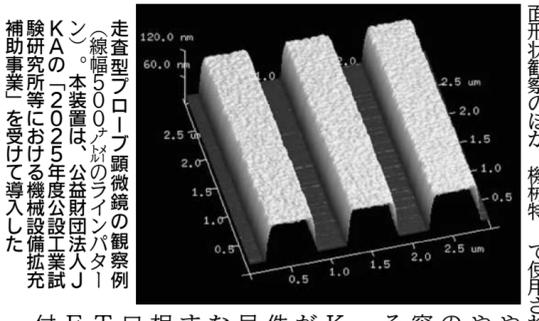
検出原理には物体の放射熱から温度分布を検知できる赤外線アレイセンサーを採用した。物体から放出される赤外線より熱画像を取得後、独自のアルゴリズムで解析し、熱・漏水・乾燥の状態を割り出す。

1台で3役をこなす小型装置が現場を見守る。検知温度の範囲は30度〜250度C。任意の温度変化も検知できる。漏水の検知距離は3mで温水や冷水を検知。5m離れた場所にある対象物の乾き具合を判定できる。

東芝情報システム

走査型プローブ顕微鏡を導入

ナノレベルの表面形状・各種物性像を取得可能



走査型プローブ顕微鏡の観察例(線幅500nm)のラインパターン。本装置は、公益財団法人JKAの「2025年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業」を受けて導入した。

神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)では、半導体や薄膜材料、微細加工分野における研究開発ニーズの高量化に対応するため、走査型プローブ顕微鏡を新規導入した。この顕微鏡はナノレベルの表面形状観察のほか、機械特性や電気特性、磁気特性、熱特性といった各種物性の分布を評価でき、材料やプロセスの詳細な解析に活用できるのが特長。また、大型電動ステージの搭載により8μmまでの半導体ウエハ等に対応するほか、化学機械研磨(CMP)試料、フォトマスク用ガラス等にも対応できる。さらに、軟X線照射除電装置も付属しており、パワー半導体材料で使用される絶縁材料基板や静電気が発生しやすい樹脂材料等の表面形状観察も容易となっている。

利用の際には、KISTEC職員が測定対象物や条件等を聞き取り、目的に応じた最適な測定方法を提案する(相談無料)。相談は技術支援窓口「KISTEC CONN」から受け付けている。

神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)

ニーズに応える林業機械向けボギーアクスル

起伏激しい路面でもタイヤ確実に接地



ボギーアクスル

大久保歯車工業(神奈川県厚木市)は、国内外の建設機械やトラック、工作機械メーカーに、歯車やアクスルなどの動力伝達装置を供給する。林業機械向けに開発したボギーアクスルは、起伏の激しい路面でも車両タイヤを確実に接地できるのが特長。国内林業の現場で使いやすい5斗積載車専用として車両メーカーと開発を進めている。独自に全国の林業組合や林業の現場でヒアリングを行い、高齢化や人手不足が深刻化する林業の現場のニーズを把握。ぬかるみでの走行やタイヤ接地圧を抑えるなど、障害物を越えて作業道や林道を通すスムーズに走行できることから、生産性や安全性の向上と森林保護に役立ち、今後の普及が期待されている。

大久保歯車工業

きめ細かな製品開発でシェア拡大

電熱ヒーター、工業用から宇宙まで用途広範



500度C雰囲気下で使用可能な耐熱絶縁電線各種

日本耐熱線工業(川崎市中原区)は、国内唯一の耐熱絶縁電線専門メーカーである。被覆絶縁電線・補償導線や工業用ヒーターリード線のほか、高温機器周辺配線や炉内配線、プラント配線用電線など、扱う品目は多岐にわたる。

独自のセフミックスフェルティンク技術で、1000度Cの高温にも耐えることができるアルミナファイバー絶縁電線を開発。超耐熱電線「アセコート」として発売以来、業界をリードしてきた。

同社の強みは、専門メーカーならではのきめ細かさだ。工業用ヒーター、半導体、液晶分野でシェアを拡大し、製品の応用範囲は工業用から宇宙まで広がっている。

日本耐熱線工業

機械の声を聴く

3つの可変フィルターで異常を抽出
聴音と数値化で機械の状態を把握する

ポータブル振動計
VW-3100



ONOSOKKI

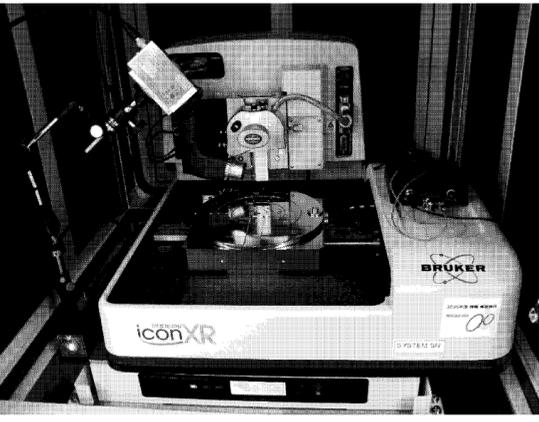


お客様相談室
フリーダイヤル
0120-388-841

大型試料ステージを備えた走査型プローブ顕微鏡

新規導入 走査型プローブ顕微鏡Dimension XR(ブルカー)
(本装置は、公益財団法人JKA 2025年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業により導入しました)

こんなお悩みを解決します!



- ナノレベルの3次元表面形状を観察したい
 - ナノレベルの表面粗さを計測したい
 - 直径8インチ以下のウェハ試料等を切断せずに観察したい
 - 帯電しやすい試料を除電して観察したい
 - 各種物性像*を観察して、材料の評価をしたい
- *対応モード:電気特性(表面電位・電流)、磁気特性、機械特性(弾性率など)、熱特性など

ご利用方法

まずは、無料相談フォームからご相談ください。



地方独立行政法人 KISTEC 神奈川県立産業技術総合研究所
【海老名本部】
〒243-0435 海老名市下今泉705-1 TEL:046-236-1500(代表) FAX:046-236-1525 https://www.kistec.jp

TOSHIBA 製造現場や機械室を非接触で見守るセンサー

VisilantEye

工事不要で設置は簡単! 対象エリアに向けてすることで検知できます。

- 温度を検知: 異常な発熱による重大事故防止に!
- 漏水を検知: 漏水による生産設備の停止防止に!
- 乾燥を検知: 乾燥の見える化で乾燥不足の防止に!

東芝情報システム株式会社 〒210-8540 神奈川県川崎市川崎区日連町1番地53 興和川崎東口ビル https://www.tjsys.co.jp/index_j.htm

新事業スタートしました!!

まごころ込めた歯車で世界を大きく動かします

建設機械をはじめとした幅広い分野における多品種の歯車一貫生産と独自開発技術を駆使した動力伝達装置を製造

大久保歯車工業株式会社 本社・工場 〒243-0801 神奈川県厚木市上依知3030番地

アセコート超耐熱電線

工業用ヒーターリード線
成形機・押出機・機器周辺配線用
データ用ケーブル
高周波誘導加熱ケーブル
同軸型耐熱ケーブル
半導体装置用ヒーター
鉄鋼向け計装用ケーブル
サーミスター用リード線

耐放射線性高温用センサーケーブル
クリーン対策(Max400°C)耐熱絶縁電線

耐熱電線の総合メーカー
日本耐熱線工業株式会社
代表取締役社長 石塚 六十史
本社 〒211-0067 川崎市中原区今井上町12-2
TEL.044-738-0215(代) FAX.044-738-0450
E-mail: info@nittai.com URL: http://www.nittai.com
北九州営業所/台北出張所

挑戦続け未来創造

神奈川産業人クラブ 2026年新春特別講演会

神奈川産業人クラブ(中村幹夫会長)は1月23日、横浜ベイシエラトホテル&タワーズ(横浜西区)で新春特別講演会を開いた。神奈川知事の黒岩祐治氏、プロアイスホッケークラブ「横浜GRITS」を運営するGRITSスポーツインベーターズ(同中区)代表取締役CEOの白井亮人氏が登壇。白井氏は「挑戦から生まれる共創アスリートのデュアルキャリアをテーマに、スポーツ選手の競技活動と社会でのキャリア形成を両立する同クラブの取り組みを紹介した。」

挑戦から生まれる共創 アスリートのデュアルキャリアを 実現する横浜GRITSモデル

プロアイスホッケーチーム「横浜GRITS」は企業界の皆さまに支えられて6年目を迎えました。私は北海道出身、アイスホッケーというスポーツが子どもの頃から身近にありました。大学までアイスホッケーをやっていた、プロにならないう時期もありましたが、プロになった先輩や後輩を見ていて、あまりいい人生を送っていないのではないかと感じました。大学を卒業して普通に働くことを決めました。

GRITSスポーツインベーターズ代表取締役CEO 白井 亮人氏

このままでは日本のアイスホッケー界はだめになってしまおうという話になりました。プロのアイスホッケーチームをつくる。アイスホッケーもプロでやりながら、仕事も正社員としてしっかり結果を出す「デュアルキャリア」というモデルでチームをつくらうと思いましたが、創業のきっかけです。



チーム名の横浜GRITSのGRITSには「やり抜く」という意味があります。アイスホッケーのプロリーグ「アジアリーグアイスホッケー」に参入した2019年は、新型コロナウイルス禍の渦中にあり、とても試合や練習ができませんでした。選手は約10ヶ月の防具を身にまとい、激しいトレーニングが繰り返されます。頻りに選手交代と6人のポジションが力を合わせて勝利を目指すのが、氷上の格闘技、アイスホッケーの魅力です。私たちは基本的にずっと

当事者目線で県内企業を支援

神奈川知事 黒岩 祐治氏



昨年の神奈川県にとって衝撃的だった出来事は、日産自動車が進出場の車高生産終了を発表したこと。地域経済に大きな影響が出ることを、昨年5月

に報道があった直後、ただちに県庁に対策本部を設置するとともに、米田閣議を含め影響を受ける中小企業を「オール神奈川」で支えていくため、国、関係市、県内商工団体、金融機関、支援機関等に声をかけ、対策協議会をつくりました。この7月には、雇用も含めた影響に対応するため、行政機関と日産自動車と構成する連携本部も設

置し、第1回会合には日産自動車のエスビノ・サーセイオも参加されました。対策協議会では、事業者への資金繰り支援など、まず既存の支援策を有効活用すべきだという意見が出ました。しかし、国や自治体支援機関がそれぞれ提供している支援策は、あるものの、事業者からは見えにくいという課題がありました。私は日ごろから常に「当事者目線」を重視しています。そこで、重んじている「事業者目線」に立ち、それぞれの悩みに対してどのような支援策があるかを分かりやすくまとめた

習後、昼前に出社して夜もきちんと働き、特別扱い」をしません。挑戦を「経営資源」に変えることが重要になってきています。人口が減少する中、今いる人が非常に大事です。挑戦する環境をつくることや、企業や地域との共創が大切です。地域の皆さまに少しでも還元できるように思います。ここで、畑山隆貴選手の例を挙げます。ある中堅企業が期待したのは「労働力」ではなく、「組織に揺らぎを与えない変化の媒介者」を挙げました。指示待ち傾向であった若手の会議での発言が活性化しました。挑戦が減少し保守化してしまいましたが、若手が挑戦を口にするようになった。育成に自信のなりました。育成に自信を言葉化するようにになりました。単なる報告会の会議が「失敗し学習」を共有する場になりました。ある中堅企業からは「人を育てるつもりで始めたが、一番育てられたのは会社の考え方が変わった」との声を頂いておりました。

挑戦を「経営資源」に変える

私も別の会社を経営しています。選手もスタッフも関係なく、全員でデュアルキャリアをやっています。基本的に通常の社員と同じ仕事量、同じ職責です。午前中の練習

「景気のよい一年となることを願ってやまない」とあいさつした中村会長。習後、昼前に出社して夜もきちんと働き、特別扱い」をしません。挑戦を「経営資源」に変えることが重要になってきています。人口が減少する中、今いる人が非常に大事です。挑戦する環境をつくることや、企業や地域との共創が大切です。地域の皆さまに少しでも還元できるように思います。ここで、畑山隆貴選手の例を挙げます。ある中堅企業が期待したのは「労働力」ではなく、「組織に揺らぎを与えない変化の媒介者」を挙げました。指示待ち傾向であった若手の会議での発言が活性化しました。挑戦が減少し保守化してしまいましたが、若手が挑戦を口にするようになった。育成に自信のなりました。育成に自信を言葉化するようにになりました。単なる報告会の会議が「失敗し学習」を共有する場になりました。ある中堅企業からは「人を育てるつもりで始めたが、一番育てられたのは会社の考え方が変わった」との声を頂いておりました。



「景気のよい一年となることを願ってやまない」とあいさつした中村会長。

開発バネなら五光!
五光発條株式会社
〒246-0008 神奈川県横浜市瀬谷区五光目町25-16
TEL.045-921-0868(代表) FAX.045-921-5980

横浜GRITSの公式キャラクター「グルーガ」も登場
SHERATON
横浜GRITSの公式キャラクター「グルーガ」も登場

自社紹介ビデオで4人がアピール
神奈川産業人クラブは新春特別講演会の中で、会員など4人による自社紹介のビデオを公開した。会員同士の相互理解を目的としたイベントは前年に続き2回目。登壇者はエニマス(東京都町田市)の2階副専務、ニイガタ(横浜市鶴見区)の渡辺学社長(神奈川県中小企業家同友会代表理事)、横浜国立大学研究推進機構の伊東吉昌学官連携コーディネーター・客員教授、東京都大田区産業経済部産業振興課の瀧ヶ崎俊輔主査の4人。1人5分間の短いプレゼンテーションで各社・機関の取り組みを紹介した。

地域の中小企業ならびに
地域に住み・働く方の夢の実現を応援する
この街のベストサポーター
川崎信用金庫
https://www.kawashin.co.jp/

技術で、創る
創業50年以來、真空技術を通して人と環境の調和に貢献しています
湘南技術センター株式会社

医療・工業用ゴム部品製造
YAMATO ISO9001:2015 認証 登録証番号: JQA-QM8668
株式会社 大和ケミカル
TEL. 046-245-3871 (代) FAX. 046-245-7109
〒243-0801 神奈川県厚木市上依知1405番地の3
YAMATO CHEMICALS(THAILAND)CO.,LTD.
YAMATO POLYMER CO.,LTD
YAMATO RUBBER VIETNAM CO.,LTD
http://www.yamato-chemical.co.jp

アマダとつくる。世界のものづくりを技術で支える
まだないモノを、
AMADA
アマダグループ